

方向

まちづくりの方向を「保全・再生・創造」の3つの大きな概念で捉え、各種の都市計画制度を活用しながら、市民が快適に安心して生活でき、かつ、多彩で個性的な機能をもつ魅力あるまちをつくる。

そのため、広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりのしくみを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根ざしたまちづくりを進める。永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高める。

評価

C

(B)

客観指標については、評価にbからdまでばらつきがあり、全体として昨年度を下回り、全5項目のうち地区計画地区数など2項目がc評価であるなど、どちらも言えない状況である。

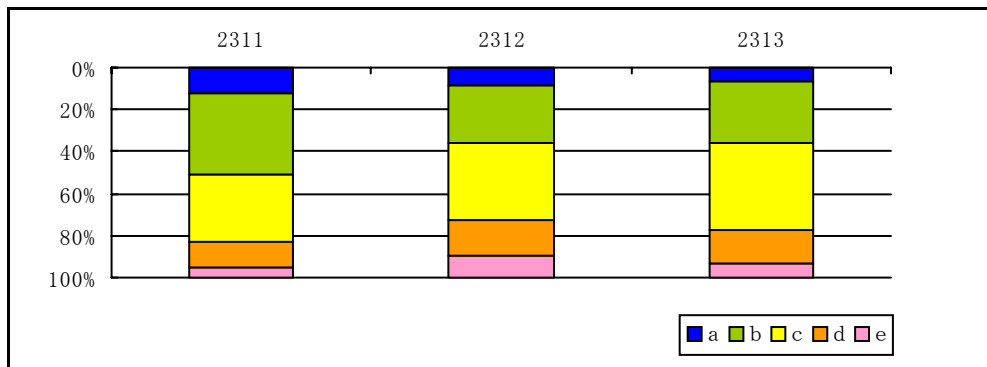
市民生活実感については、多様なまちづくりの進展に関しb評価であるものの、まちのにぎわい・住民のまちづくり活動に係る2項目に関してはc評価であり、全体としてはどちらも言えない状況である。

客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。

○政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価(アウトカム指標での評価)

2311	(準)京都市景観・まちづくりセンターにおけるまちづくりに関する相談件数(件)	340	c
2311	(準)外観上の特徴が残り建物状態が良好な京町家の割合(%)	26	-
2312	(準)路線価(二条駅地区)(千円)	206	d
2312	地下鉄駅別乗降客数(二条駅)(千人)	6309	b
2313	地区計画の地区数(地区)	41	c
2313	地域協働型地区計画の策定数(計画)	0.5	d

○市民生活実感評価



2311	美しい自然や町並みが保たれている一方、南部地域には企業が集積するなど、多様なまちづくりが進んでいる。	b (b)
2312	鉄道駅の周辺や商店街が賑わっている。	c (c)
2313	景観や住環境を守るための住民によるまちづくり活動が盛んになってきている。	c (c)

<参考>この政策を実現するための施策とその総合評価

施策名	保全・再生・創造を基調とするまちづくり	評価:
2311 概要	永い歴史のなかで受け継いできた自然・歴史的資源に恵まれた地域においては、その個性を保全・再生し、新たな都市の活力を担う市南部においては、積極的に都市機能を充実し、都市全体の魅力と活力を高めるまちづくりを進める。	B (B)
施策名	多彩で個性的な機能をもつ地域のまちづくり	評価:
2312 概要	鉄道駅周辺の交通の利便性が高い地域においては、周辺住環境との調和に配慮した都市機能の配置と市街地環境の整備を行い、民間活力を活用しながら、にぎわいと潤いのあるまちづくりを進める。 また、地域特性に応じた商店街の活性化を図り、商業振興と一体となったまちづくりを進める。	B (B)

施策名	まちづくりを支えるしくみづくり	評価:
2313 概要	広く市民と情報を共有し、京都独自のきめ細かなまちづくりの仕組みを整えながら、それぞれの地域において、市民との協働により、地域に根ざしたまちづくりを進める。	C (B)